

特別活動プロジェクト研究通信(No. 1)

「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てる小学校の特別活動 一学級活動における個々の意思決定とそれに基づく実践の充実を通して一



こんにちは、学級活動大好き「がっかつにいさん」です。
 5月16日(木)、滋賀県総合教育センターにて、第1回研究会を開催しました。
 県内から4校の研究委員の先生方にお集まりいただき、特別活動について研修を行いました。今回の通信では、本研究の概要、滋賀県教育委員会幼小中教育課 川端主査の御講義のポイント、研究委員の先生方が学ばれたことを中心に紹介します。

本研究では「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てます

特別活動において育成すべき**資質・能力**の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと
 共に生きていく力を育てます。

社会参画

よりよい集団や社会をつく
 ろうとする力を育てます。

自己実現

なりたい自分に向けてがん
 ばる力を育てます。

「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」(国立教育政策研究所 平成31年)より



「自己実現」は、「将来なりたい自分に近づくため、今の自分にできることを考え実践しながら、よりよい自分づくりを目指すことができるようにすること」とされ、特別活動において「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てると示されています。

「学級活動における個々の意思決定」に焦点を当てます

学級活動(1) 合意形成

みんなで考え、みんなのことを決める

児童が主体的に行う



教師の計画的な指導

学級会
 係活動
 学級集会
 活動



学級活動(2) 意思決定

みんなで考え、自分のことを決める

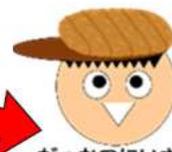


学級活動(3) 意思決定

みんなで考え、自分のことを決める



学級活動(1)は集団での合意形成を図り実践する内容です。一方、学級活動(2)、(3)は個々が意思決定し実践する内容です。本研究では、学級活動(2)、(3)に焦点を当て、「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てることを目指します。



ここに焦点
 を当てる!

川端主査から学ぶ学級活動の取組のキーワード

- ・ 「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てるためのキーワードは「安心」「主体性」「あこがれ」「ふりかえり」
- ・ 安心感に包まれた支持的風土の学級が「なりたい自分に向けてがんばる力」の基盤
- ・ 子どもが本気になる活動を重ねる
- ・ あこがれが意欲の源となり主体性を導き出す
- ・ 様々な人からの評価により達成感を味わい、自尊感情が高まる



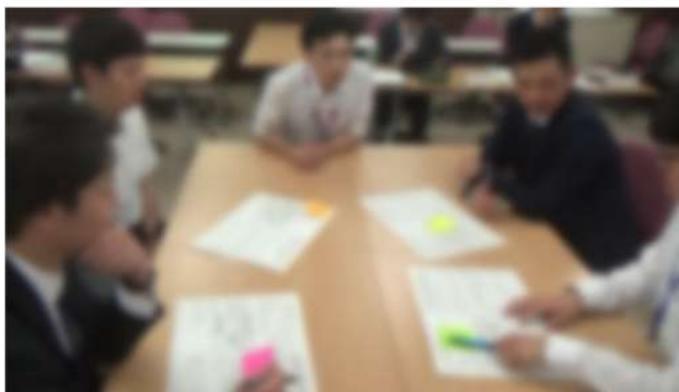
滋賀県教育委員会事務局
幼小中教育課
川端 清司 主査



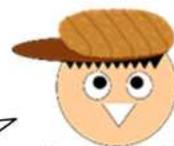
がっかつにいさん

印象的だったのは、特別活動は「経験したことが力になる 失敗したことが成功につながる 成長と喜びを実感できる特別に楽しい活動」という言葉です。指導者がやらせる活動になってしまう、話合いがまとまらないなど、初めは中々うまくいかないことがあると思います。それはだめなことではなく、子どもも指導者自身も、失敗から学ぶことが大切なのだと感じました。

研究委員の学び



研究委員の先生方に模擬授業を通して、本研究で考えている児童への手立てを体験していただきました。



がっかつにいさん

- ・ 子どもたちの主体性が大切であることを学んだ。
- ・ 子どもの成功体験、温かい学級づくりにつながる活動に取り組みたい。
- ・ 学級活動(2)、(3)の授業を「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」のステップで進めることを学んだ。自校でも広めていきたい。
- ・ 学級活動の年間指導計画の作成方法を学びたい。

第2回研究会

日時 6月25日(火)

場所 新館3階 研修室B

- 内容
- ・ 取組の交流
 - ・ 研究協議(実践の成果と課題について)
 - ・ 目指す児童の姿の共有
 - ・ 学級活動年間計画の整理 などを予定



がっかつにいさん

がっかつにいさん

学活で
きつと描ける
夢がある